

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
公共	2	全日制・普通科・第1年次	『高等学校 新公共』(第一学習社)				
科目の目標	<p>・現代の諸課題を捉え、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ取る能力を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ると共に、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。</p>						
月	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	6	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生における青年期の意味を体験的に振り返り、人間としてのあり方・生き方を理解している。</li> <li>・人間は個人としての相互尊重と対話による相互理解による 高めあいが可能な社会的存在であることを理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。</li> <li>・孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の考察のまとめ</li> <li>・他者の発表の傾聴</li> <li>・グループでの話し合いへの積極的参加</li> <li>・小レポートの作成</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<p>自立した主体は、集団の一員として他者との協働により当事者として国家・社会など公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書各図説の読み取りと考察</li> <li>・個人による思考と考察</li> <li>・グループ活動(個人体験発表と話し合い)</li> <li>・全体発表、まとめ</li> <li>・小レポート作成(体験的振り返り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述(自己の思考と考察、振り返り)</li> <li>・グループによる話し合いと発表</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科、保健の類似分野も参考にするように指導する。</li> </ul>
5月	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。</li> <li>・自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択・判断の手掛かりとなる倫理的価値を理解する。</li> <li>・対立意見をどう調和させるか考察する</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<p>古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先哲の思想とその影響について思考・考察</li> <li>・対立する主張を明確にする試み</li> <li>・グループ活動(対立の解決と調和への話し合い)</li> <li>・全体発表、まとめ</li> <li>・小レポート作成(どのような視点で自らは判断したか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述(意見の相違の明確化、自己の判断の手掛かりとなった思想)</li> <li>・グループによる話し合いと発表</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な問題や事象に関連づけて考えると共に、「探求」活動にも配慮して学習するように促す。</li> </ul>
	第3章 公共的な空間における基本的原理	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間における意見や利害の調整が重要なことを理解している。</li> <li>・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、正義、公正などに着目して考えている。</li> <li>・公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・個人と国家・社会との関係から、世界のおもな政治体制について、比較・考察しようとしている。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的背景をふまえながら、民主政治の基本的原理と思想を理解する。</li> <li>・民主社会における自由・権利・責任・義務の重要性を考察する。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<p>古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊重と法の支配の関係について考察する。</li> <li>・民主政治の基本的原理について、順を追って発展する様子を理解する。</li> <li>・国民主権と政治参加の意義について考える。</li> <li>・小レポート作成(民主政治への参加と選挙の重要性について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述(各思想の違いと自分の意見、政治参加とポピュリズムについて等)</li> <li>・ネットや文獻等の活用</li> <li>・小レポート作成(民主政治への参加と選挙の重要性について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場での利害調整や問題解決の例を考察する。その際、既習の「道徳」との関連も考慮する。</li> </ul>
6月	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割	8	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法や規範の意義及び役割に関する現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>・公法や私法の定義と、国民の行為を規制し社会の秩序を維持及び国民の活動を積極的に促進し紛争を解決するという法の両面の役割を理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な紛争や課題をどのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。</li> <li>・自由権、社会権の意味・意義と新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</li> <li>・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。</li> <li>・現代の諸課題と法改正について話し合う。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<p>憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書各図説の読み取りと考察</li> <li>・個人による思考と考察</li> <li>・グループ活動(個人体験発表と話し合い)</li> <li>・全体発表、まとめ</li> <li>・小レポート作成(体験的振り返り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述(身近な課題と法との関わり、人権と法の意義)</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校「公民」や法教育との関連を考慮する。</li> </ul>
	主題2 契約と消費者の権利・責任		<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年年齢(18歳)の意味と責任について理解している。</li> <li>・契約と消費者の権利・責任に関する現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>・現実社会の諸課題についての情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</li> <li>・違法な契約内容があり得る</li> </ul>	<p>契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書掲載のものや身近な例を基に契約の意味や責任について考察する。</li> <li>・違法な契約内容があり得る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述(契約の自由、違法な契約、消費者保護)</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科(消費者分野)との関連を考慮する。</li> </ul>

7月		2	<p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。</li> <li>・現代の諸課題と法改正について話し合う。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しごとにつく。</li> <li>・消費者の権利と、その保護について理解する。</li> <li>・小レポート作成（体験的振り返り）</li> </ul>		
	主題3 司法参加の意義	2	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。</li> <li>・自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な主題を設定し、追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> <li>・具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>・司法の独立と裁判を受ける権利を正しく理解する。</li> <li>・司法のしくみと司法参加の意義について理解する。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を理解する。</li> <li>・【活動内容】</li> <li>・中学校公民の既習内容振り返り（司法権の独立、違憲法令審査権、裁判員制度）</li> <li>・冤罪と再審制度を正しく理解する。</li> <li>・小レポート作成（もし裁判員に選ばれたら）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述（裁判員制度、冤罪と再審）</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法務省Webページや法テラスWebページを有効に活用する。</li> </ul>
9月(1)	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の事柄や課題と、選挙の意義、政治的無関心の危険性などについて理解している。</li> <li>・国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について、理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。</li> <li>・地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが国政よりも多く取り入れられていることや、様々な課題があることについて考察、構想し、表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</li> <li>・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。</li> <li>・現代の諸課題と法改正について話し合う。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。</li> <li>・【活動内容】</li> <li>・民主政治における選挙の重要性に気づく。</li> <li>・選挙制度の現状と課題について考察する。</li> <li>・政党や世論の役割や重要性について理解する。</li> <li>・国会や内閣の地位や役割について正しく理解する。</li> <li>・小レポート作成（マニフェストを読んだ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述（正しい選挙と選挙運動、政治的無関心と投票行動）</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会、総務省、中央選挙管理委員会の各Webページを有効に活用する。</li> </ul>
	主題5 国際社会と国家主権	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>・国際社会の諸課題に関する諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・国際社会と国家主権について、国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために、必要な情報を収集し、考察、構想している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>・国際法の意義を正しく理解する。</li> <li>・国家主権と領土・領域をめぐる問題を世界的視点から認識し、解決策を展望する。</li> <li>・国際連合の役割を確認する。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。</li> <li>・【活動内容】</li> <li>・国際法の観点から国際社会のあるべき姿を展望する。</li> <li>・我が国と世界の領土・領域をめぐる問題を、国家主権を念頭に国際的視野からとらえ、考察する。</li> <li>・国際連合の地位・しくみ・役割について理解する。</li> <li>・小レポート作成（我が国の領土・領域に関する現状について）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述（国際法の歴史、国際司法裁判所、SDGs）</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合、外務省各Webページを有効に活用する。</li> </ul>
9月(2)		4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の平和主義について、現実社会の諸課題に関する諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、さまざまな観点から考察している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の安全保障と防衛について、憲法の平和主義や国連憲章、日米安全保障条約等をふまえ、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>・身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。</li> <li>・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。</li> <li>・現代の諸課題と法改正について話し合う。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。</li> <li>・【活動内容】</li> <li>・敗戦から平和憲法制定、冷戦とその終結、テロ・地域紛争の激化等の時代的変化を、我が国の立場や対応を踏まえながら振り返る。</li> <li>・宇宙・サイバー空間など新たな防衛領域への対応や課題に理解を深める。</li> <li>・小レポート作成（変容する国際社会と日本の防衛）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述（米中対立と日本、平和主義と集団的自衛権、沖縄の基地移転問題、核軍縮と日本）</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣、外務省、防衛省の各Webページを有効に活用する。</li> </ul>
	主題6 日本の安全保障と防衛	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>・人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題に関する資料を適切な手段で収集・分析し、課題解決に向けた国際社会の取り組みを理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変化する国際情勢の中で、日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか、広い視点に立って理解し、さまざまな観点から考察している。</li> <li>・持続可能な開発(SDGs)の観点から、国際社会の安定について、様々な視点から考察し、論拠をもって表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>・冷戦後のグローバル化の影響とは何かを考察する。</li> <li>・国際社会の脅威とは何か、考察する。</li> <li>・国際社会の対立・分断はなぜ進むのかを考察する。</li> <li>・日本の果たすべき役割を考察する。</li> <li>・授業態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。</li> <li>・【活動内容】</li> <li>・超大国（陣営）の対立や軍縮の歩みを国際平和の観点から展望する。</li> <li>・テロ、核軍拡や難民問題の拡大など対立と分断が進む現状を認識し、解決策を探る。</li> <li>・流動化する国際社会において、日本の果たすべき役割を平和主義を踏まえて考察する。</li> <li>・小レポート作成（集団安全保障・核軍縮と日本、難民問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述（SDGs、地域紛争、民族紛争、難民問題）</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合、外務省各Webページを有効に活用する。</li> </ul>
10月	主題7 国際社会の変化と日本の役割	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>・人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題に関する資料を適切な手段で収集・分析し、課題解決に向けた国際社会の取り組みを理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変化する国際情勢の中で、日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか、広い視点に立って理解し、さまざまな観点から考察している。</li> <li>・持続可能な開発(SDGs)の観点から、国際社会の安定について、様々な視点から考察し、論拠をもって表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>・冷戦後のグローバル化の影響とは何かを考察する。</li> <li>・国際社会の脅威とは何か、考察する。</li> <li>・国際社会の対立・分断はなぜ進むのかを考察する。</li> <li>・日本の果たすべき役割を考察する。</li> <li>・授業態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。</li> <li>・【活動内容】</li> <li>・超大国（陣営）の対立や軍縮の歩みを国際平和の観点から展望する。</li> <li>・テロ、核軍拡や難民問題の拡大など対立と分断が進む現状を認識し、解決策を探る。</li> <li>・流動化する国際社会において、日本の果たすべき役割を平和主義を踏まえて考察する。</li> <li>・小レポート作成（集団安全保障・核軍縮と日本、難民問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章記述（SDGs、地域紛争、民族紛争、難民問題）</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合、外務省各Webページを有効に活用する。</li> </ul>

		<p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問評価</li> <li>ワークブック</li> <li>提出課題</li> <li>ノート提出</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>題と日本)</p>		
11月	<p>第3章 経済的な主体となる私たち</p> <p>主題8 雇用と労働問題</p>	<p>4</p> <p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークライフバランスの観点から、雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>三つの経済主体（企業・家計・政府）の中で、私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。</li> <li>近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体例をあげて多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>雇用環境流動化の現状を最新資料を基に認識する。</li> <li>ワークライフバランスの重要性をふまえながら、一人ひとりが経済活動の主体的担い手であることを、資料を基に確認する。</li> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークブック</li> <li>提出課題</li> <li>ノート提出</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書掲載の各種統計資料を分析、確認する。</li> <li>資料集や各Webサイト等のデータにより、特に雇用環境の流動化の現状を確認する。</li> <li>小レポート作成（安心して働くための労働環境とは）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章記述（経済主体、労働者の権利、テレワーク、ワークライフバランス）</li> <li>グループによる話し合い</li> <li>小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省、各労働団体、研究機関等の各Webページを有効に活用する。</li> </ul>
	<p>主題9 社会の変化と職業観</p>	<p>4</p> <p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。</li> <li>企業の役割や種類から、株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し、論拠をもって表現している。</li> <li>農林水産業の現状と今後について、さまざまな情報を基に考察、構想し、論拠をもって表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>急速な技術革新や高度情報化の進行が、雇用・労働・職業観にどのような変化をもたらすのか、また対応の仕方について考察する。</li> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークブック</li> <li>提出課題</li> <li>ノート提出</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雇用の流動化の具体的内容を列挙してみる。</li> <li>急速な技術革新や高度情報化の進行が、雇用・労働・職業観にどのような変化をもたらしている現状を調べてみる。</li> <li>新時代における望ましい職業観を展望する。</li> <li>小レポート作成（働き方の変化をどうとらえ、対応してゆくか）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章記述（AI、Society5.0、新しい職業観）</li> <li>グループによる話し合い</li> <li>小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞、雑誌、テレビ等のマスコミや厚生労働省、経済産業省等のWebページを有効に活用する。</li> </ul>
	<p>主題10 市場経済の機能と限界</p>	<p>4</p> <p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。</li> <li>市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場経済の限界に対する公共財の供給について、政府の役割を多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。</li> <li>経済成長が生活に与える影響を、具体的事例をあげて考察している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>市場機構の基本的しくみを理解し、現実経済へ応用できる。</li> <li>市場の歪みや独占・寡占の問題点を理解する。</li> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークブック</li> <li>提出課題</li> <li>ノート提出</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>価格機構の基本をグラフを基に理解する。</li> <li>市場の失敗・限界と解決策を具体的に探る。</li> <li>小レポート作成（市場経済の弱点の克服）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章記述（価格機構、市場の失敗、寡占・独占、外部不経済）</li> <li>グループによる話し合い</li> <li>小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校「公民」や家庭科での学習成果と連携する。</li> </ul>
12月～1月	<p>主題11 金融のはたらき</p>	<p>4</p> <p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割について理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>金融の働きを身近な経済活動と総て理解できる。</li> <li>市場経済の根本の幸福、正義、公正の理念に気づく。</li> <li>現実経済の諸課題を解決しようとする。</li> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークブック</li> <li>提出課題</li> <li>ノート提出</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのかを理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資金の流れや中央銀行の役割等について図表で視覚的に捉える。</li> <li>金融政策の内容と効果について理解する。</li> <li>キャッシュレス化やフィンテック、暗号資産（教科書コラム）など、新たな潮流に関心を寄せる。</li> <li>小レポート作成（日銀の金融政策と物価の安定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章記述（キャッシュレス決済、フィンテック、暗号資産、CBDC）</li> <li>グループによる話し合い</li> <li>小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本銀行や金融広報中央委員会、日本証券業協会等のWebページを有効に活用する。</li> </ul>
	<p>主題12 財政の役割と社会保障</p>	<p>4</p> <p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。</li> <li>社会保障の意義を理解し、現在の社会保障の課題について考察している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>財政や租税のしくみ、課題について理解できる。</li> <li>少子高齢化と社会保障費増大、財政再建について主体的に解決しようとしている。</li> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ワークブック</li> <li>提出課題</li> <li>ノート提出</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の一般会計予算を詳細に分析し、現状を把握する。</li> <li>人口減少社会における社会保障のあり方について、資料を基に実証的に展望する。</li> <li>小レポート作成（これからの年金・医療・介護の制度構築）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章記述（国の借金、プライマリーバランス、ノーマライゼーション、人口減少社会）</li> <li>グループによる話し合い</li> <li>小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務省、厚生労働省、研究機関等の各Webページを有効に活用する。</li> </ul>
1月～2月	<p>主題13 経済のグローバル化</p>	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貿易の意義、円高・円安が生じる理由、貿易摩擦などについて、考察、構想し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</li> <li>複雑化する国際経済において貿易、金融など多面的角度</li> </ul>	<p>経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきかを考える。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模な経済紛争や地域経</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章記述（グローバル化、地域間格差、TPP）</li> <li>グループによる話し合い</li> <li>小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外務省、国際連合、研究機関等の各Webページを有効に活用する。</li> </ul>

		4	<p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>から現状を把握し、課題解決に向かおうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<p>済統合の影響や効果を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の貿易のあり方を考える。</li> <li>・小レポート作成（日銀の金融政策と物価の安定）</li> </ul>		
3月	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ケーススタディ	4	<p>a 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまで学んだ内容を幅広く活用し、今日的課題の解決への主体的取り組みに役立っている。</li> </ul> <p>b 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標しながら、解決策を説明、論述している。</li> </ul> <p>c 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題解決のために幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて考察、構想し、論拠をもって表現している。</li> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ワークブック</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<p>公共の精神を持ち自立した主体として幸福、正義、公正を基礎に、現代の諸課題を探究する活動を行う。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班設定のテーマごとに様々な資料を分析し、成果を話し合う。</li> <li>・考察結果を提言としてまとめ、発表する。</li> <li>・小レポート作成（私たちにできること～自・他班の発表をふまえて）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表資料作成</li> <li>・グループによる話し合い</li> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・傾聴、批判、省察</li> <li>・小レポート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報科、国語科（国語表現）、英語科等での学びを総合化する。</li> <li>・各公的機関等のWebページを有効に活用する。（客観的事実を適切に得られるように留意する）</li> </ul>
	指導時間数の計	70					